

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 放課後デイサービスフクシア | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 11月 1日 | | 2025年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 16 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 11月 1日 | | 2025年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 10 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3月 24日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 普通学校生活だけでは得られないような体験をできるよう、意識してプログラムを組んでいます。外に出る機会を積極的に作っています。 | 同じ活動でも内容に変化を持たせ、子どもの成長や興味に応じたアレンジを加えることで、飽きの来ないプログラム作りを行っています。 | イベントや座談会の開催を増やし、気軽に参加できる雰囲気作りを進めていきたいと考えています。 |
| 2 | 子ども一人ひとりの特性や興味関心に応じた支援を考えています。その日の様子や状態によって、柔軟に支援を変えられる工夫をしています。 | スタッフ間で子どもの様子や対応の振り返りを日々行い、支援方針の共有をしています。個別対応を準備していることで、子どもも安心して過ごせています。 | 面談の機会を定期的に設け、子育ての悩みや発達への不安にも丁寧に対応できるよう、相談体制を強化していきます。 |
| 3 | 生活習慣に基づいた、将来の自立に向けて習慣化を重ねる支援を特に意識しています。 | 送迎時や連絡帳を通じたコミュニケーションを大切に、保護者が日々の活動内容や子どもの様子を把握できるよう配慮しています。 | 電子配信を活用し、活動内容や事業所からのお知らせをよりわかりやすく、タイムリーに伝えられるよう改善を進めています。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者向けの家族支援プログラムや研修会が平日の営業日のみで実施が難しく、参加のハードルが高いことが課題です。今後は時間帯や形式の工夫が必要です。 | 日々の業務が多忙・バックグラウンドの人員が不足しているため、保護者支援や研修会の企画実施に十分な時間を割くことが難しくなっていることが要因の一つです。 | 家族支援の時間設定やオンラインでの情報共有の実施など、参加しやすい形式での提供により、保護者支援の充実を図る必要があります。 |
| 2 | 地域の児童館や放課後児童クラブとの交流がなく、子ども同士の地域的なつながりが薄いと感じています。交流の場の検討が必要だと考えています。 | 地域交流に関しては、受け入れ先や連携先の確保が難しく、協力体制を築くためのアプローチが不足していることが影響しています。 | 地域交流の第一歩として、少人数の合同イベントや見学会から始めるなど、段階的な取り組みが有効と考えています。 |
| 3 | ホームページ等の情報発信が限定的で、保護者への広報・周知に課題があります。より見やすくタイムリーな発信方法の整備を検討しています。 | 情報発信は手作業が中心で、効率的な仕組みが整っていないことが課題の背景にあり、定期的な情報共有の場を設けることやデジタル活用が必要と考えています。 | 定期的な面談・相談の場を設けることやホームページや電子連絡帳を活用した情報発信を強化し、保護者がいつでも事業所の様子やお知らせ・資料などを確認できるようにしたいと考えています。 |